

福岡県移住者子弟留学生 第1回報告書（6月）

テーマ

「自分の出身国の事。

福岡に来てから今日までのこと。」

ブラジル福岡県人会
中村 幸恵 サリー

九州産業大学造形短期大学部
造形芸術学科

私は中村幸恵サリーと申します

ブラジル、モジ・ダス・クルーゼスから来ました。

私は4人兄弟の長女です。兄弟たちとはいつも仲良く時々けんかをしていました。

母の家族は12人兄弟でそのほとんどが子供もいて家族はいつもにぎやかです。家族とは毎週一回ぐらいは会っていました。

教会では毎週土曜日に鼓笛の練習がありました。私は音楽が苦手であまり手伝うことはありませんでしたがとても楽しかったです。

私の家は蘭を作る仕事をしていて長い間田舎に住んでいました。田舎では祖母と住んでいました。日本に来る前までは、ほぼ毎日田舎で蘭作りを手伝っていました。

私たちは犬2匹と金魚を2匹飼っています。

両親は日本に留学をしたことがあり、すごくいい思い出になったと言っていました。私は、ブラジルではアニメーションの勉強をしていたので、もちろん私にも日本に留学したい気持ちがありました。

日本には観光にしか来たことがなかったので、日本人としての生活にも興味がありましたし、日本の大学の教え方にも興味がありました。

ブラジルのアニメーション業界は今小さいですが少しずつ確かに成長しています。

私はブラジルでそのアニメーションやシナリオの作り方を勉強しました。ブラジルでの大学生活はとても大変でしたが、とてもいい友達もできて、いつもみんなで助け合ったり遊んだりしてとても楽しかったです。

ブラジルでは大学は遠くて通学時間は少なくとも、電車で2時間半くらいはかかりました。今は大学まで歩いて20分しかかかりません。

ブラジルのアニメーション作業はアメリカ風で日本のやり方と異なるところもあります。

私は福岡でその違うところを勉強したいと思います。

違う国にいると時差のため、ブラジルの家族や友達に連絡をしづらく、寂しい時もあります。

初めは文化の違いなどが心配でしたが、少しずつ慣れてきました。

毎日の料理のことも心配でしたが、ほかの留学生といっしょに作るようになって本当にほっとしました。料理が上手な人たちがいて毎日おいしいご飯が食べられます。

家族会の方々にもいろいろお世話になりました。チュラスコを作ってくれたり、野球の試合に連れて行ってくれたり、スイカ割りを体験させてもらったり、とても楽しかったです。

ホームステイではとてもきれいな教会にも行きました。陶芸も体験しました。陶

芸は初めてでとても楽しかったです。

大学のキャンパスは大きくて最初は迷ったりもしましたが、ずいぶん慣れてきました。色々使える教室や施設があってとても便利です。日本語で授業を受けるのはちょっと難しいところもありますが、それも勉強になっているのだと思います。

大学の方々と山に登ったこともありました。私は運動にはあまり慣れていなくてちょっと大変でした。

この一年間、アニメーションの勉強だけでなく日本語や日本の文化についても勉強したいと思います。

色々不安になったり迷ったりすることもあります。これからもよろしくお願ひします。

ブラジル福岡県人会
新垣 要吉 ファービオ

九州産業大学造形短期大学部
造形芸術学科

新垣要吉ファービオと申します。ブラジルから来ました。ブラジルのサンパウロに住んでいます。サンパウロはサンパウロ州の州都で、南半球最大のメガシティです。サンパウロはどこへ行っても混んでいます。私はもう人込みに慣れてます。

よく通っていた場所はリベルダーデ地区です。リベルダーデは東洋地区で、昔、日系人がたくさん住んでいた地区です。住民は変わりましたが、リベルダーデの文化は変わっていません。リベルダーデには、日本製品の店舗や日本料理屋、日本美術館、神社、日本語学校や大きい鳥居まであります。時々お祭りも行われています。私はリベルダーデで日本語と漫画を描く事を勉強しました。

しかし、サンパウロの一番有名な所はパウリスタ大通りです。パウリスタ大通りはビジネスと金融と文化の中心となっています。パウリスタ大通りには高層ビルと美術館とショッピングモールがいっぱいあります。私はたまにパウリスタ大通りへ友達と遊びに行きます。

母と祖母と住んでいます。母の仕事は代表している会社の製品を店に売る仕事です。いろんな会社を代表しているので大変な仕事です。父はゼネラルモーターズのエンジニアです。

私は BELAS ARTES 大学でアニメーションを勉強しました。現在は、アニメーションとゲームを学ぶことを目標として九州産業大学造形短期大学部で勉強しています。日本のアニメとゲームは世界中の人たちが憧れているので、たくさん学ぶ事が出来ると思います。今は集中してゲームプログラミングの勉強をしています。プログラミングは今まで経験が無かったので最初は大変でしたが、少しずつ慣れてきました。プログラミングはまだ難しいですが、意外と楽しいです。

福岡に来た時、私はすごく嬉しかったです。私は子供の時から日本文化に興味がありました。日本アニメと特撮ヒーローを見ながら育ったので、もちろん日本の娯楽に興味がありますが、それだけではなく日本文化そのものに興味があります。特に綺麗な所が好きです。

福岡の生活にはすぐ慣れましたが、日本では時々通りに歩道が無いし、真っ直ぐな道はあまりなくて、サンパウロと全然違うため最初は少し戸惑いました。

部活の事はすごく悩んでいましたが、デジタルアート部に入部して良かったと思います。先輩たちはすごく優しいし困った事があればすぐ助けてくれます。部室でみんなと喋りながら絵を描くのが本当に楽しいです。先日の学文祭では、皆と一緒に描いた絵を展示しました。でも一番楽しかったのは歓迎会の時でした。皆と一緒に焼き肉を食べてカラオケへ行きました。

最後に家族会の方たちに感謝したいです。まだ二か月しか経っていませんが、家族会の皆さんのおかげでたくさんの新しい体験をする事が出来ました。色々な場所へ連れて行って食事を用意してくださって本当にありがとうございました。ブラジルに帰る前に自慢出来る良いゲームをつくって、友達をたくさん作って、日本語をもっと上手になりたいと思います。

ブラジル福岡県人会
恒富 ジアナ 美樹

福岡女子短期大学
健康栄養学科

私の名前は恒富ジアナ美樹です。23歳です。ブラジル国、サンパウロ州、パウリニア市から来ました。

家族8人暮らしで、私の祖父、祖母、父、母、弟、父の妹、従兄弟と一緒に住んでいます。祖父は福岡県出身、椎田町に住んでいましたが、55年前くらいにブラジルに移り、それ以来ずっとブラジルに住んでいます。

私の家は大家族で、そのうえ犬を10匹以上飼っています。私は動物が大好きです。これまで、色々な種類の動物を飼っていましたが、日本にいる間は動物がないのでさびしいです。一番さびしいのはヒッキーと言う私の犬と会えないことです。

私は広大な農家に住んでいます。祖父は果物のグアバを生産しており、家族全員が収穫や箱詰めなどを手伝います。それから祖父はその品物を売りに出します。父は同じ農場の中で釣り堀の経営もしており、母はそのレストラン部分の管理者で、お互い助け合いながら頑張っています。

こちらも家族全員が手伝います。

私と弟はレストランで母をよく手伝い、その影響で料理に興味をもちました。母のブラジル料理と祖母の日本料理で育ちました。母と祖母の影響で、私はカンピナスのカトリック大学の栄養学科を卒業しました。弟も料理学校で勉強しています。立派なシェフになりたいそうです。

みんなが応援してくれたおかげで、日本で一年間勉強する機会が出来てとても感謝しています。この機会に、日本の文化や、日本の料理など、たくさん勉強をしたいです。

4月1日にガアルーリョス空港を出発し、4月3日に福岡空港に到着しました。到着早々に忙しい日々が続きました。寮にやっと落ち着いたと息をつくのもつかの間、次の日には福岡女子短期大学を訪問し、その次の日から授業が始まりました。バス、電車、地下鉄などで通学しています。はじめのころはかなり迷ったり、不安になったりしましたが、今は大分慣れて来ました。それと大学の先生方、スタッフ、学生が助けてくれました。そのお陰で友達も出来て嬉しいです。何回も迷子になりましたが、だんだん分かって来ました。

初日の授業で、いろんな人達と会って、まず恥ずかしかった事が、洋服でした。ほとんどの人達がおしゃれで、ちょっと気まずい気分でした。それで、私も少しずつおしゃれをするようにしています。

不思議に思ったのは、ブラジルの大学では栄養学科は4年間勉強しますが、日本では2年間だけという点です。ブラジルでは、病院で栄養士として働くにはこの2年間だけでなく、さらに2年間、もっと細かい勉強をしなければなりません。私はあまり漢字がわからないので日本では栄養学だけでなく日本語の勉強もしたいと思います。先生方、クラスメート、スタッフ、友達が助けてくださるので、感謝しています。

この一年間で学べるだけ学び、多くの事をやりたいです。そして、この経験を帰国後にブラジルで活かしたいと思います。

日本に来てからもう2ヶ月が経ちました、毎日があっという間に過ぎていきます。

5月のはじめに、祖父の実家へ遊びに行き、祖父の兄弟たちに会いました。皆様に親切にしてください、とても嬉しかったです。また、機会があれば福岡県内を見たいです。祖父のふるさとを深くいろいろ見たいです。

これからもよろしくおねがいします。

パラグアイ福岡県人会 北川 徹也

九州大学 農学部

僕の名前は北川徹也です。南米に位置するパラグアイと言う面積 406.752 km、人口約7百万人の小さな国から来ました。1986年にフラム地区(ウクライナ人移住地)から独立したラ・パスというパラグアイ人と日系人を合わせて人口約 3400 人の日系移住地に家族6人で住んでいます。父は農業、畜産を主にした仕事をし、母は主婦、姉は理学療法士、そして経営理学部に通う弟とおばあちゃんと住んでいます。

幼稚園と小学校は地元ラパスで卒業し、中学校から高校までは、ラパスから50kmほど離れたエンカルナシオンという町に住み、そして2011年からは、ラパスの近くにあるドイツ人の移住者たちが多く住むホヘナウに住み、農業大学を2015年に卒業しました。福岡に来るまでの2年間は、実家で農業の手伝いをしました。

自分が福岡に留学したいと思ったのは、先進国である日本の大学で勉強が出来るという事と、祖父母の出身地がどういう所なのか1年間生活をして知るためです。その中で福岡に来て驚いた事、嬉しかったことは家族会の方に、「ここに今パラグアイに住んでいる人の家があった」と言われ、その場所に連れて行ってもらった時で、とても不思議な気持ちになり、何回考えても信じられませんでした。もし自分が日本で生まれ育ったとしたら移住する自信がなかつたらうな、何を思って全然知らない国に渡ったんだろう、など今でも寝る前に思い出すと考えてしまいます。でも祖父母達が移住しなかったら今の自分がいないと思うと本当に凄い事です。福岡に来ていなかったらこのような事は感じることなく、当たり前的事だと思って母国で生活をしていたと思います。

日常生活で見られる人々の行動、敬意にも驚きました。誰もが時間を守る事、電車の時間に遅れが見られない、歩行者が車に対して優先である事、など日本では当たり前的事かもしれませんが、パラグアイではめったに見られない光景です。

来たばかりの時は困った事もありました。大学のキャンパスが広いため農学部を探すと、自分が所属する環境生命経済学の研究室の70%が外国人であり、どう接していいか分からなかったり、授業中に出た例で農家、国民の税金システムがパラグアイと全く違っていたことなどです。でも逆に何もかもがすごく勉強になります。

この一年間の目標は大学で勉強をし知識を深め、多くの人と友達になり、日本の文化、名所などを知る事です。日本とパラグアイでは何が違うのか、分野に関係なく見分けて、いつかこれらのどれかを何処かで役に立てる事が出来るように頑張ります。

在ボリビア福岡県人会
オガタ ナカムラ デニセ ミナ

純真短期大学
製菓クリエイトコース

私はおがた みなです 22 才です。日系 3 世です。ボリビアから来ました。ボリビアは南アメリカにあります。ボリビアの旗は赤色、黄色と緑色です。人口は 1100 万人です。首都はラパスです。ボリビアの宗教は 78%がカトリックです。

私はコチャバンバで生まれました。コチャバンバはボリビアの中心に位置しています。平均気温は 20 度です。言語はスペイン語です。コチャバンバは食べ物が豊富です。農業と畜産が盛んです。人口は 63 万 2000 人です。標高 2578 メートルに位置しています。

私の父の名前はおがたおさむで、母の名前はなかむらひろみです。両親はボリビアで生まれました。私は 3 人兄弟です。姉の名前はおがたじあなです。姉はボリビアで結婚して、サンタクルーズにいます。兄の名前はおがたしゅじです。兄も結婚をして日本に住んでいます。ボリビアで両親は時計店を営んでいます。

私はボリビアで食料学を学びました。コチャバンバでは UNIVERSIDAD PRIVADA DEL VALLE という大学で 4 年間勉強しました。日本に来たので、まだ最終試験を受けていません。だからこそこの一年間、日本で勉強に励みボリビアに帰ってからの最終試験に活かしたいと思います。

日本では 純真短期大学でパティシエの勉強をしています。

福岡に来て 2 ヶ月が経ちました。大学ではたくさんのデザートを作りました。他の県費留学生と毎晩いっしょに夕食を作ってみんなで食べています。埼玉に兄に会いに行きました。

家族会の方 に誘っていただいて、浴衣の 着付け を 習いました。野球も観に行きました。野球の試合はとても楽しかったです。ボリビアでは野球の試合がありません。

大学は楽しいです。みんな優しいです。友達もできました。先生方もわかりやすい日本語で話してくれます。私は日本語で書くこと、読むこと、話すことがまだ少ししかできません。

福岡に来て、とてもきれいでゴミなどもなく非常に住みやすい町だと驚きました。また、日本の技術はボリビアと違って斬新です。困ったのは、ボリビアには電がないので初めは駅で何をすればいいかわからなかったことと、人が言っていることがわかってもしどのようにこたえたらいいかわからない時です。このチャンスで日本に来ることができて、私はとてもうれしいです。福岡でパティシエの授業をすごく楽しんでます。まだそれほど時間は経っていません

が色々なデザートの手作り方を習いました。

私の目標は、日本語の勉強をして読み書きができるようになる事です。日本の人と友達になっていろいろ日本語で話せるようになりたいです。日本の文化のことをもっと学んで、経験してみたいです。学校ではパティシエの勉強をして日本のスイーツの手作り方を覚えたいと思います。

アルゼンチン福岡県人会
船越 カティア 亜矢子

九州産業大学造形短期大学
造形芸術学科

私はアルゼンチンから来ました。アルゼンチンはラテンアメリカの一番南にあります。

私が生まれた場所はアジェンという小さな町です。町の多くの人は果物を作っています。りんご、もも、さくらんぼ、そして主に、なしを栽培しています。色んな種類が作られているので、毎年2月になし祭りが行われています。家族は両親と4人兄弟です。姉と兄は両親と同じく花屋をしています。弟は石油関係の仕事をしています。実家から20キロ離れた場所に住んでいます。私たち兄弟は二世です。子供の頃は日系人として色んな差別にあって不安ばかりでしたが、大人になって日本人を尊敬している人が増えてきて、日本人だからこそ仕事に雇われるという状況になりました。日本と文化は違いますが、その二つの文化のバランスが興味深いと思っています。

父はまだ独身の頃、20代でアルゼンチンへ移住しました。未だに私には不思議なことです。言葉も分からない国に移住することはどれだけの根性が必要なのか私には分かりません。きっと私にはとても無理です。

私は18年前にファッションの勉強を始めると決めて、ブエノスアイレスに引っ越しました。ファッションデザイン短期大学を卒業した後、もっと詳しく技術を学びたいと思い、ドナトデレゴ専門学校でオートクチュールを勉強しました。

卒業する前にその専門学校で雇われました。裁縫と型紙を教える仕事を5年間続けました。

日本に来る前までデザイナーとして働いていました。裁縫師の仕事もしていました。私が人生で初めてこの職業を選んで間違っていなかったと思った瞬間は、デザイナーから大統領婦人のドレスを任せられた時でした。それから、私が福岡で勉強をする夢が始まりました。私はデザイナーの力になりたくて、勉強をしたいと思いました。日本人の文化が強みになると言われて仕事するチャンスを与えてくれました。

福岡に着いて、一番嬉しかった事は両親の故郷に行って叔母と叔父に再会したことでした。

一番驚いた事は大学の公衆トイレが新しくきれいだったことです。

困った事は言葉の使い方です。人と話すときにいつも心配するのは私の話す日本語が、人を傷つけないかどうかです。

私の目標はこの1年間日本の文化について、そして私の職業について知識を広

めることです。文化とつながる職業、作業 そして技術を学んで母国で学んだ知識を活かすことです。私の作品で福岡の魅力を表現したいと思っています。

ペルー福岡県人会
たくま 新川 ジェシカ

九州産業大学造形短期大学
造形芸術学科

私はタクマジェシカです。ペルーから来ました。24歳です。日系3世です。私の父の苗字はたくまです。私の父方の祖父の名前はアルトルです。祖母はサラです。父の名前はアルトルです。母の苗字は、しんかわです。母は北海道から来ました。私の母方の祖父の名前はパブロしげきで、祖母はテレサです。私は友達と出かけたり、映画館に映画を観に行ったり、一緒にレストランで食事をしたり、ジムに行くのが大好きです。

私の親友はジョルダンです。高校最後の年に出会った友達で、それ以来ずっと親友です。私は友達と過ごすのがとても好きなので、会えなくてとてもさびしいです。でも日本で新しい友達を作れてうれしいです。

ペルーには約3300万人の人々が住んでいます。私はペルーの首都リマに住んでいます。大きい都市なので、たくさんものがあります。カスコに次ぐ人気の都市です。

ペルーで最も人気がある場所はマンコラで、ピウラにあるビーチです。

私の住むリマのナスカの地上絵は、イカにあるとても人気の場所です。ナスカの地上絵は、さるやくモ、たくさんの物体や惑星など、300を超えるものが描かれている場所です。大きいので、飛行機に乗っているときにしか見ることができません。世界で最も人気のあるものの一つです。イキトスは、首都から少し離れていますが、イキトス県都があるロレト県は、たくさんの動植物が見られる場所です。最も人気があるのは、クスコのマチュピチュで、世界の7不思議の一つです。マチュピチュはケチュア語で「古い山」を意味します。それは大きな石作りの美しい壁で、壮大な景色です。チチカカ湖は、ペルーとボリビアの国境にある世界で一番高い場所にある湖です。

私のペルーの大学はUSILで、3月にホテル経営科を卒業しました。

大きな大学ではありませんが、たくさんの交換留学プログラムがあり、夏休みにアメリカのいくつかの都市を旅行することができました。2年間バスケットボール部に所属し、とても楽しかったです。

現在は福岡の九州産業大学造形短期大学部で、グラフィックデザインを勉強しています。

少し難しいこともありますが、先生たちが優しく、楽しいです。日本語の授業もあり、ゲンキブックを使っています。日本語のクラスでは、たくさんの交換留学生がいるので、おもしろいです。

私は日本語を上手になりたいと思います。

日本の文化を学びたいです。

日本や海外の友達を作りたいです。
たくさん旅行をし、日本の多くの場所を知りたいです。
人としてもっと成長し、もっと自立したいと思います。
お金の管理についてもっと学びます。
楽しい時間を過ごし、経験からたくさんのことを学びたいです。
困難も乗り越えます。
日本に住んでいる親戚に会いたいです。

メキシコ福岡県人会
田中 ゴームス ヨシロ アルフレード

九州大学
経済学部

私の名前は田中ヨシロです。メキシコから来ました。メキシコの正式な名前は「メキシコ合衆国」です。メキシコの旗は緑、白と赤色です。メキシコは、ラテンアメリカの、中米に位置し、北米とグアテマラの間にあります。31県にわかれています、メキシコの面積は、日本の面積の5倍です。メキシコの領土は1,950,000平方キロメートルです。メキシコの言語はスペイン語です。メキシコの人口は123,000,000人です。メキシコの人口は日本の人口と同じくらいです。9月16日は独立記念日で、大きな祭りがあります。メキシコの通貨はペソです。現在、1ペソは19円です。メキシコでの宗教は90%がカトリックです。メキシコの首都はメキシコシティです。メキシコシティの平均気温は16度から25度です。メキシコへの日本人移住は1897年から始まりました。現在は、メキシコで、約20,000人の日系人がいます。

私は22才です。日系三世です。祖父は福岡の山門郡で生まれました。私は5人家族です。父は日本人で母はメキシコ人です。父の名前は田中アルフレードで母の名前はゴメスベロニカです。私の両親はメキシコでタイヤの販売をしています。私は長男です。私の弟の名前は田中あきらです。メキシコに住んでいます。私の妹の名前は田中あいこです。彼女は現在新潟で日本語を勉強しています。

私はメキシコにあるVALLE DE MEXICO 大学で会計と経営学を勉強しました。今年卒業しました。

県費留学生としての大学での目標は、日本の会社と社員の関係性、方針、組織文化を勉強することです。そして、日本語を勉強してきちんと話せるようになる事です。友達を作って日本の文化を理解し、日本とメキシコのいい関係を作ることです。

福岡で私は九州大学の箱崎キャンパスで経済について勉強しています。

福岡県で驚いたのはレストラン、ショッピングセンター、駅など何処に行ってもコーディネーションがすごいことです。人口が多くて混雑するにもかかわらず、皆きちんと順番を守ります。特にレストラン、お店などで何かわからないことがあれば分かるまで優しく、丁寧に教えてくれます。

テクノロジーの面で、日本は世界的にトップレベルですが、いろいろなところで昔の文化が残っていることに感動しました。困ったことは、僕があまり日本語を話せないことです。同じ年や年上の方とのコミュニケーションが難しいです。学校生活は楽しいです。キャンパスは大きくて学食の食事はおいしいです。みんなとてもやさしくて友達になってくれます。日本語は難しいけれど、勉強をして少しずつ覚えています。日本人の友達もできました。いつもぼくのことを心配してくれてとても優しいです。